

NIPPON

かわら版

66号



日本製紙

発行所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地 〒101-0062 日本製紙株式会社新聞営業本部 電話 03-6665-1030 FAX 03-6665-0319 www.nipponpapergroup.com/ newsprint@nipponpapergroup.com ©日本製紙株式会社2019



新社長に野沢徹就任

日本製紙株式会社
代表取締役社長 兼 社長執行役員 野沢 徹

去る6月27日に行われた第95回定時株主総会後の取締役会において、当社代表取締役社長を5年間務めた馬城文雄の後任に野沢徹が就任致しました。

入社以来、長年にわたり経理、財務を担当。新聞用紙事業や今後の会社運営の舵取りについて伺いました。

元かわら版NIPPON編集長 高木 宏昌



これまでの経歴と新聞とのかかわりについて

平成26年に企画本部長に就任するまで、入社以来、経理、財務畑を歩んできました。入社5年目だったと思いますが、当時は財務部に所属していましたが、工場へ行って原価計算をやりたいたく強く思うようになりました。「製紙会社の一員として紙がどうやってつくられているか心底知りたい」と。当時は、法人税の申告書を書ければ一人前と言われた時代でした。経理のプロになってどこの会社でも通用する人材になりたいと思っていたものです。その後念願かなって伏木工場勤務となり、週2回簿記学校にも通いながら原価計算実務に邁進しました。伏木工場は2008年9月に閉鎖しましたが、私が伏木工場に在籍していた当時は新聞用紙の生産も行っていました。新聞用紙とのかかわりという意味ではその時が初めてでしたが、新聞社様のご使用状況を場内で情報共有し、品質の安定がいかほど大切であるかを学びました。

また、企画本部長に就任してからは各営業本部とのフリーディスカッションを積極的に行ってきました。特に、新聞営業部とは何度も議論を重ねました。需要減、原燃料高騰といった逆風下で厳しい経営状況となり、前期は減損損失を計上致しましたが、この事業が将来にわたり安定的に継続し、お客様へ供給責任を果

たすために、企画・技術・原材料・営業・研究・工場それぞれの関係者が知恵を出し合いながら、それぞれの持ち場で何を成すべきなのか、真剣に議論することが出来ました。

こうしたディスカッションは、新聞用紙事業に限らず各営業部門と行っており、その中で、企画部門から一方的に企画以外の部門に何かを指示するというのではなく、営業や工場、研究、管理も含めて、現場実務に携わる人たちとのコミュニケーションの重要性を実感しています。実際、フリーディスカッションは回を重ねるごとに密度が濃くなり、最初はあまり話が盛り上がりませんが、だんだんにぎやかになり、本音がどんどん出てきて、実に様々な意見が飛び交うようになりました。社長になっても同様に、当社グループの経営課題について「皆で議論する」ということを、大いにやっていきたいと思っています。

当社グループにおける新聞用紙事業の位置付けについて

当社の企業理念である「世界の人々の豊かな暮らしと文化の発展に貢献します」に照らし合わせれば、新聞用紙事業はまさに「文化の発展に貢献する」事業です。新聞用紙事業の重要性は不変であり、これからも供給責任をしっかりと果たしていかなければならないという気持ちを強く持っ

ています。今の世の中、何が起るか分からない時代です。プラスチック減量に伴う紙への関心の大きな変革のうねりがここまで高まることを3年前に誰が予想したのでしょうか。それくらい不確実な時代であるからこそ、今後、紙の新聞の価値が見直される可能性に期待しています。

最近では新聞社様が非常に編集面に注力され、様々な工夫をされていると感じています。そのニーズにお応えするためにも、高白新聞など用紙面においても私たちが貢献出来るよう努力してまいります。

紙で読む新聞への期待

何と言っても、優れた一覧性は紙の新聞ならではの武器だと思っています。

また、フェイクニュースと対峙(たいじ)する、あらゆる分野における専門性の高い責任編集による記事でまとめられており、それらは読むに値する極めて重要な情報です。私自身にとっても新聞は貴重な情報源であり、業務や日常生活に不可欠な存在です。こうした紙の新聞が持つ商品の価値はこれからも変わらないも

のであり、むしろ再評価される時代がくるべきだと思っています。

ただ最近の発行部数の動向を危ぶんでいるのも事実です。新聞離れを食い止めるためには、「読む習慣」を植え付けることが重要であり、そのためには「小さい時」から読ませることに尽きるとしています。「新聞を読む」ことは、物事をじっくり考える、相手の言わんとすることを汲み取るといった、社会人としての受容力を養うことに直結するものであり、ひいては豊かな社会の土台づくりに貢献するものであると信じています。その観点から、NIE活動をより充実させ、官民挙げての一大プロジェクトにすべく、新聞営業本部の人たちには新聞社の皆様と大いに議論して欲しいと思っています。

今後の会社運営の舵取りについて

まずは、今年度上期中に第6次中期経営計画の総点検を行います。今年度下期が折り返し地点となるため、各本部長・工場長、グループ会社社長にはこれまでの経過を総括し、とるべ

き課題の明確化と実行を指示しています。

もう少し長期的な視野に立てば、「既存事業の強化」と「事業構造転換」という2つの経営方針の柱は変わりませんが、「攻め」と「守り」のバランスを取りながらスピードアップを図らなければなりません。「攻め」とは成長分野であり、「守り」は既存事業とも言えます。

当社は、「木とともに未来を拓く」とのスローガンを掲げていますが、木材、パルプをベースとする無限の可能性を持つ基礎技術を有し、持続可能な社会に貢献出来る企業です。そのことを確信し、会社を成長軌道に乗せていくことが私の使命であると思っています。

私自身、紙を製造する会社であることにこだわりを持ち続けたいと考えており、「日本製紙」の「製紙」はこれからも社名に残していくつもりです。その上で、成長分野としての「攻め」を推進し、「何をつくっている会社なのかかわからない会社」になっていくのが、私の目指す「日本製紙」だと思っています。



野沢 徹 略歴

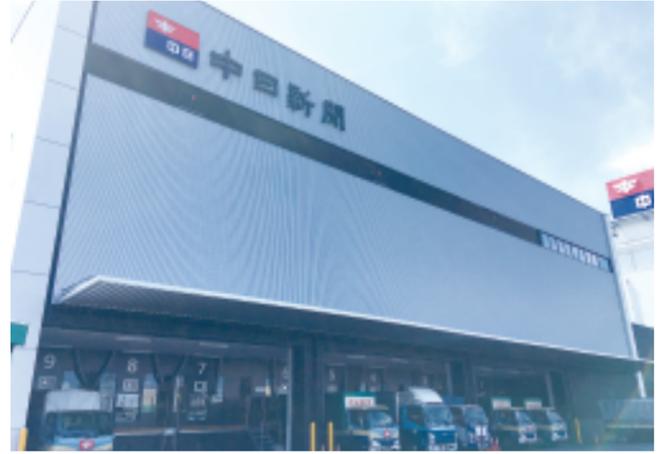
1959年3月10日生
出身地/神奈川県

- 1981年3月 慶應義塾大学法学部卒業
- 1981年4月 十條製紙株式会社入社
- 2005年6月 日本製紙株式会社 管理本部財務部長
- 2008年2月 同社 管理本部経理部長
- 2009年6月 同社 管理本部長代理兼経理部長
- 2013年4月 同社 執行役員 管理本部長代理兼経理部長
- 2014年6月 同社 取締役 執行役員 企画本部長、関連企業担当
- 2017年6月 同社 取締役 常務執行役員 企画本部長、関連企業担当
- 2018年6月 同社 取締役 常務執行役員 企画本部長兼管理本部長、関連企業担当

中日新聞辻町南工場

今回ご紹介致します印刷工場は、愛知県名古屋市北区にある「中日新聞辻町南工場」です。2018年11月に稼働し、中日新聞朝夕刊他、多くの受託媒体を印刷しています。最新設備を活用し、タイトな印刷工程の中、省人省力化を実現している工場の取り組みについて、中日高速オフセット印刷株式会社の堀場取締役製作本部長にお話を伺いました。

インタビュー 中部営業支社 渡邊 浩二
かわら版NIPPON編集委員 櫻井 亨



ユーザーインタビュー



中日高速オフセット印刷株式会社
堀場 寛司 取締役製作本部長

新工場設立の経緯について

辻町南工場は、老朽化した金城工場の生産設備更新と、名古屋管内の印刷体制再構築を目的として建設された、3セットの輪転機を所有する工場です。2004年に稼働した辻町北工場と同じ敷地内に隣接しています。両工場合計では7セットの規模で、中日グループの印刷事業の一大拠点となっています。工場の建設・設備においては先に稼働した浜松都田工場(2016年12月稼働)での経験が生かされ、大きなトラブルもなく、おおむね順調に立ち上げることが出来ました。工場立ち上げの前には半年間かけて新工場配属の全メンバーが交代で1週間、浜松都田工場での研修をさせてもらったことで事前準備をすることが出来ました。来年の大府工場稼働に向けては、辻町南工場でも研修の受け入れを予定していて、グループ全体での協力体制が築かれています。

建物・生産設備の特徴を教えてください

建物は「シンプル&エコ(economy-ecology)」をコンセプトに、平時の安定性と扱いやすさ、経済性、環境性を追求しました。地上3階建ての耐震構造で、見学者施設は隣接する辻町北工場で補完出来ることから、新聞製作に特化したレイアウトとなっています。作業動線・物流動線が最短となるよう、諸設備や工場敷地内の輸送経路が設計されています。

生産設備は浜松都田工場の最新設備を踏襲し、改善・改良を重ねられたものを導入しました。輪転機は東京

機械製作所製4×1型「COLORTOP-ECOWIDE II」を3セット導入し、40頁24個面カラーの印刷が可能です。3セットをコンパクトに並列に配置し、発送設備は各輪転機と直列に配置しました。建屋を増築すれば、もう1セットを増設して並列に配置することが可能です。

インキはすべて高速DIP方式で、細かいインキ調整が可能になり、極小絵柄の印刷品質が安定しました。CTPは3台導入し、刷版は無処理版(合紙レス)を採用しました。無処理版による視認性低下への対応として、刷版情報印字装置「Miyell」を導入し、刷版上に紙面情報を水性インクで印字しています。刷版の仕分け装置は「9方向仕分け装置」を導入し、輪転機のユニットごと、フロアの上段・下段ごとに仕分けられることで作業負荷が軽減されています。

刷版装着チェックシステム「Scope」により、専用のスマートフォンを活用して刷版に「Miyell」で印字したQRコードと、輪転機に設置したタグを読みとって、刷版の装着位置が正しいか照合可能にしています。また、新たに設備監視盤との連携機能を追加したことで、Scope端末を携帯していれば輪転場内の生産設備の稼働状況や建屋設備の異常が確認出来るようになりました。自動刷版着脱装置「T-PLATER」により、版替え時間は短縮されています。

立体紙庫は250本の巻取を収納可能で、ワンプ開梱後に入庫します。印刷開始前に仕立ての完了した新聞巻取をハンガーに準備する「事前出庫方式」を採用することで、巻取仕立て装置やAGVは必要最低限の台数に抑えました。仕立てた巻取をハンガーに置ききれない場合は立体紙庫に再入庫してハンガーとして代用出来るようにしています。これによってハンガーを約20台分削減出来ました。

多くの受託媒体を印刷するために

現在、辻町南工場では中日新聞朝夕刊を含めて、専門紙やスポーツ紙など合計10媒体を印刷しています。輪転機の稼働率や刷版の交換頻度

は高いですが、最新設備の導入によって輪転機1セット当たりの人数は4名から3名に減らし、2セット体制だった金城工場の時と同人数で、印刷部数が増えた現在の3セット体制を運用出来ています。

紙通しの切り替え頻度も高いことから、紙通しで使用するFWL(全自動紙通し装置)について、5リール同時の紙上げを可能にする「損紙低減モード」と、紙上げ準備を早く行う「時短モード」を採用しました。時短モードは業界で初めて使用しており、前の媒体を印刷中にFWLを事前にユニット出口まで返送することで、従来よりも紙上げ準備を3分程度短縮出来るようになりました。

稼働率が高い中では清掃作業の時間を確保することも困難です。プロテクター類にはガラスコーティングを施すとともに、自動洗浄可能な「カバー洗浄装置」を導入して清掃作業負担を軽減しています。夕刊帯ではセットごとの印刷銘柄を一週間ごとにローテーションすることで、効率よく輪転機の整備が出来る時間を確保するよう工夫しています。使用中に残った多品種の新聞巻取を置くスペースも十分に確保しました。

受託媒体の中には発送において小束なものもあることから、小束処理装置を1台導入しました。宛名配信はオンラインシステム対応となっていて、印刷速度を落とさずに効率良く処理することが出来ています。

今後の工場運営について教えてください

旧工場では人手に頼った運用でしたが、新工場では新設備・新技術を活用して省人省力化を実現しています。セット数が増えたことは、トラブルが発生した場合にも対応しやすくなりました。今後の工場経営のことを考えれば、タイトな印刷工程の中でも、更に広報関係などの受託媒体獲得も検討していかなければなりません。まだ稼働して1年未満で、安定稼働出来ていると言える状態ではなく、更に設備を活用出来るようにトラブルシューティングを作成するなどして、日々勉強を重ねています。

この度はご多忙のところ取材にご協力頂き、誠に有難うございました。中日新聞辻町南工場様のますますのご繁栄を祈念致します。



9方向への刷版仕分け装置



小束処理装置



中残紙庫は十分なスペースを確保



自動化されたカバー洗浄装置

設備概要

- 輪転機: COLORTOP-ECOWIDE II 3セット(東京機械製作所)
- 紙面検査装置: Toyoassistant-FX2 (東洋インキエンジニアリング)
- CTPエンジン: AMZISetter-SX 3台(NECプラットフォームズ)
- 自動紙継仕度装置: PPR-1ATS 1台(KKS)
- ワンプ自動開梱機: 1台(以下、椿本チエイン)
- AGV: 8台
- ハンガー: 53台
- 立体紙庫: 250棚

平成年間 新聞用紙の変遷

「紙の新聞」の特長、優位性とはなんであろうか。スマートフォンやPCなど電子メディアを利用すれば、いつでもどこでも誰もが簡単に情報が入手出来る時代である。情報ソースの一つとして新聞を選んでもらいたい。たくさんの人に新聞を広げてもらいたい。

かわら版NIPPON今号では平成を振り返り新聞用紙の変遷をたどる。子供の教材として再認識され、一覧性に秀でる信頼出来る情報の宝庫「新聞」。令和でも盛り上げていきたい。

かわら版NIPPON 編集委員 山野 由宇

国内外 社会の出来事	平成	日本製紙グループ及び新聞事業の動き
1月 8日 平成に改元 4月 消費税開始(3%)	元年 1989年	10月 十条製紙 フィンランド アールストローム社と提携
10月 東西ドイツ統一 12月 日本人 秋山豊寛氏 初の宇宙飛行	2年 1990年	1月 勇弘工場 6号抄紙機 稼働
1月 湾岸戦争勃発 バブル経済崩壊 6月 雲仙普賢岳大火山砕流発生	3年 1991年	5月 岩沼工場 4号抄紙機 稼働 8月 ノーバック 3号抄紙機 稼働
1月 貴花田 史上最年少(19歳5か月)で幕内優勝 8月 松井秀樹氏 甲子園で5打席連続敬退 9月 宇宙飛行士 毛利衛氏 米スペースシャトルに搭乗	4年 1992年	7月 十条製紙・山陽国策パルプ 合併覚書に調印
1月 釧路沖地震(M7.8)発生 5月 サッカーJリーグ開幕 マイクront「ウインドウズ3.1」日本語版発売 6月 皇太子殿下 小和田雅子さんと結婚 8月 東京都港区に「レインボーブリッジ」開通 11月 「ヨーロッパ連合・EU」発足	5年 1993年	4月 日本製紙株式会社発足 倉持会長、宮下社長が就任
9月 オリックスのイチロー氏 シーズン200本安打の日本新記録	6年 1994年	
1月 阪神淡路大震災(M7.3)発生 3月 地下鉄サリン事件 11月 野茂英雄氏(ドジャース) ナショナルリーグ新人王に選出 マイクront「ウインドウズ95」日本語版発売	7年 1995年	12月 植林用高品質クロロン苗の 低コスト大量生産法の開発に成功
4月 検索サイト「Yahoo! JAPAN」サービス開始 携帯電話 1,000万台突破 7月 20日 初の「海の日」	8年 1996年	11月 日本製紙・三井物産、オーストラリア南部で 植林事業に着手
4月 消費税が5%に引き上げ 7月 香港 英植民地から中国に返還	9年 1997年	7月 日本製紙、ウェアハウザー両社は、ノーバック 合併事業においてさらに関係を強化するため、日本製紙持ち株比率を現在の20%から 50%へ引き上げることで基本合意に達し、こ のたび覚書に調印
2月 長野オリンピック開催・パラリンピック3月開催 4月 明石海峡大橋 開通 7月 日本初の火星探査機「のぞみ」打ち上げ マイクront「ウインドウズ98」日本語版発売 8月 アップル「Mac」日本発売	10年 1998年	2月 八代工場 N2抄紙機 稼働
6月 ソニー 子犬型ロボット「AIBO」発売 国内のインターネット人口1,694万人に 9月 東海村ウラン加工施設で臨界事故	11年 1999年	4月 大昭和製紙株式会社と市民生活協同組合なら うコープ、および大和紙料株式会社は、古紙 回収・原紙供給の共同リサイクル事業につい て基本合意 12月 原材料本部内に「古紙調達部」を新設。雑誌 古紙・オフィス古紙の回収を更に強化
3月 携帯電話が固定電話を抜く 7月 伊豆七島三宅島噴火	12年 2000年	4月 北陸地域(富山・石川・福井)の協働と共同で 古紙リサイクルシステム「クロスド・ループ」 を構築
9月 アメリカ同時多発テロ発生 12月 1日 皇太子妃雅子様 女児「愛子さま」ご出産	13年 2001年	3月 株式会社日本コニックホールディング」設立 4月 コンクリート混和剤事業の基礎拡大強化を目 指し、2社が合併。新会社名は「(株)サンプロ パルプ」
4月 学校週5日制 毎週土曜日が休日の完全実施 5月 経団連と日経連が統合。「日本経団連」発足 FIFAワールドカップ日本と韓国共同開催	14年 2002年	7月 勇弘工場において、雑誌古紙を100%利用出 来る日本国内で初めての古紙パルプ(DIP) 製造設備が営業運転を開始
1月 巨人の松井秀喜氏 大リーグ ニューヨークヤンキース入団 9月 十勝沖地震(M8.0)発生	15年 2003年	10月 段ボール事業の再編。段ボール6社が合併し、 「日板パッケージ株式会社」として発足

本紙は八代工場NPI上質 64.0g/m²を使用しております。

新聞用紙の消費量

新聞用紙内需推移表をご覧ください。平成30年間での新聞用紙内需の最高記録は、平成17年から平成18年にかけてである。暦年では平成18年の376万4千トン、年度では平成17年度の377万6千トンであった。平成18年2月にトリノ冬季五輪開催(荒川静香がイナバウワーなど世界を魅了した美技を披露し金メダルを獲得)、同年6月にはドイツWカップ(日本代表は3大会連続出場も予選敗退)などのイベントが要因となり需要の底上げがあった。

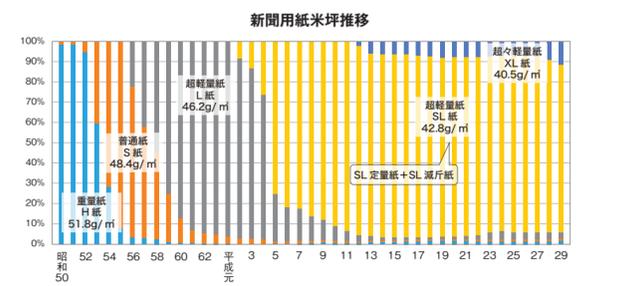
平成元年を100とした指標(元年比)をみると、平成18年の10ポイントプラスが最高位の実績となり重量換算で33万4千トンも内需が増加している。この数字は当社岩沼工場の年間生産量の6割ほどに相当する。反対に最下位となっているのが約24ポイントマイナスの直近、平成30年の260万9千トンとなった。平成元年比較で82万1千トン消費を失った計算になる。また表には記載していないが平成31年(令和元年)は前年比65ポイント19万トン減の約241万トンと予測している(日本製紙連合会予測)。平成18年ピーク時との比較で135万トン減ってしまうことになりそうだ。135万トンは当社新聞用紙の年間生産能力を優に上回ってしまう数量だ。

当社は本年7月に釧路工場8号抄紙機、同12月に勇弘事業所6号抄紙機をそれぞれ停機する。また王子製紙苫小牧工場N-5抄紙機は2020年度上期中に停機し、その翌年度で段ボール原紙・クラフト紙への転抄がリリースされている。激動の新聞用紙事業に対応すべく当社は需給バランスを整え、この先も安定供給の責務を果たしていきたいと考えている。



新聞用紙の軽量化

新聞用紙の米坪推移表をご覧ください。昭和50年代前半までは重量紙(H紙)51.8g/m²が主流であった新聞用紙の米坪は、昭和50年代中盤で普通紙(S紙)48.4g/m²へ、昭和50年代後半からは軽量紙(L紙)へと昭和期最後の10余年間で3米坪がそれぞれ主流となり軽量化が進んだ。平成に入ると更に米坪はダウンし、超軽量紙(SL紙)42.8g/m²の使用が増えていき、平成10年を超えた頃には約9割が超軽量紙となっている。超軽量紙には「更なる減斤紙」として42.8g/m²から1g/m²米坪を落とした41.8g/m²も含まれ2米坪が同じ規格となる。平成22年頃より全国紙を中心に採用され始め一部地方紙でも展開されている。超々軽量新聞(XL紙)40.5g/m²は平成12年頃より採用が開始された。



NIE活動の重要性

漠然だが新聞を読むことは良いことだらけだ、と個人的には思う。世間一般的にも、新聞を読もう、子供達に読ませようとかよく目に、耳にする。ただ、筆者も含めて『ネットからでも情報が得られるのに新聞を読む意味は?』と聞かれると、ネットでは得られない新聞の特長を明確には回答出来ていないだろう。今更かと言われる覚悟で、また個人的な考えにもなってしまうが、新聞ならではの特長を挙げてみたい。

- 読解力、学力が向上する(可能性がある)
- 考える力が付く
- 情報の信憑性
- 情報の一覧性に秀でる
- 紙なので保存ができ読み返すことが出来る

他にも挙げればキリがないが、主にはこんなところか。

音読をしている時の人間の脳は、前頭前野を中心に脳全体で活発に働く、と言われている。新聞は日本国内や世界中の情報が記事になっており、世の中で何が起きているのか現実のニュースを知ることが可能である。書き手や論調にもよるが、出来事に対しての正解・不正解が記事になっていることは少なく、読み手自身が「こうあるべきだ」という自分なりに学習し考え、自分なりの正解を導き出す。毎日反復することで、「学習する・考える」良い“癖”が付いていく。また読み手の関心が薄い、興味が無い記事も視界に入り、読むことがある。知識が広がり、見識の幅も広がると信じている。まさしく一覧性に秀でる新聞ならではの長だ。

さて、筆者も子供に新聞を読み続けなさいと言っているが、これがなかなか続かない。新聞を広げ読んでいる大きな背中をほぼ毎日見せつけるも、4コマ漫画から読んでみようか、どこの面でも気になった記事一つだけでも読んでみようかと語りかけ続けるも、その日限りで終わってしまう。新聞を読む子供にならしてほしい、強要はしないが語りかけ続けていこうと思う。良い事だから。

自分の名前が出ている箇所を切り抜きスクラップしたものを、大学入試の参考資料として提出したことを思い出す。現在は分からないが、当時は新聞の切り抜きが公的なものとして当然であったし、郷土紙に名前が取り上げられた時の感動は今でも覚えている。

新聞に対する信頼度が高い証拠であり、裏を返せばフェイクニュースが無いマスメディアである。

最後に

昨今、通勤電車で新聞を読んでいる人を見かけることが少なくなった。スマートフォンやタブレットの電子版で読む人が増えたこともあるが、狭いスペースで4つ折りにし上手に器用に読む、恐らく日本人ならではの風物詩と思うが増えてほしいと願ってやまない。スマホゲームに夢中で揺れるたびにぶつかる乗客に度々会おう。「スマホよりつり革を掴んでよ」ということもあるが、新聞を読んでいる乗客なら大目にもいたい(ひいき目か)。

取材から始まり文字に起こす、編集、レイアウト、題字一つにとことんこだわる、印刷し宅配されるまでに費やした新聞社の労力と責務を感じる。そこにかかわる新聞用紙も同様に抄きあげている。安心・安全・安定供給を継続したい。

令和元年となる7月は参議院選挙、9月にアジアでは初開催となるラグビーW杯、10月には消費税増税、来年には2020年東京五輪とここから先、需要・景気に大きく影響するイベントがたくさん控えている。新聞社と共に新聞事業を盛り上げていきたい。

日本製紙グループ及び新聞事業の動き	国内外 社会の出来事
1月 アイスホッケー「日本製紙クレインズ」 2003-2004シーズンアジアリーグ初代王者に輝く	4月 東京営団地下鉄が民営化 東京外口誕生 10月 新潟県中越地震発生 最大震度7を観測 11月 紙幣のデザインが20年ぶり一一新 プロ野球「バリーグ」楽天が 50年ぶり新規参入
3月 白老工場 2号抄紙機 停機 (年間生産能力75千トン)	2月 中部国際空港(セントレア) 愛知県常滑市沖に開港 3月-「愛・地球博」愛知万博(185日間)開催
9月 当社生産の新聞用紙すべてを中性紙化することを決定	12月 新語・流行語大賞のトップテンに 「格差社会」が選出
2月 北山社有林(静岡県富士宮市、670ヘクタール) を日本建築専門学校に学習林として公開。 社会教育の場として提供	2月 第1回東京マラソン開催 3万870人が参加 8月 サブプライムローンの揚げ付問題で 世界同時株安 10月 郵政事業 民営化 4事業会社に分社
1月 国内4事業所(旭川、岩沼、東北、吉永)でバイ オマス燃料などの新エネルギーを主な燃料と する発電設備の導入を決定。	7月 iPhone3G日本で発売。 スマートフォン普及のきっかけ 9月 歴史的な金融危機「リーマン・ショック」発生
12月 宮城球場(仙台市宮城野区)の今後3年間の ネーミングライツ(施設命名権) 取得につい て、基本合意。2008年1月より「日本製紙 ク リネックス スタジアム 宮城」となる	1月 米大統領にオバマ氏就任 6月 マイケル・ジャクソンさん死去 享年50歳
9月 伏木工場 5号抄紙機 停機 (新聞用紙年間生産能力19千トン)	4月 高校の授業料実質無料化
3月 旭川工場、勇弘工場、白老工場を統合し新た に「北海道工場」を設立	22年 2010年
6月 TEMPO酸化セルロースナノファイバーを用い た包装材料の共同開発、バイオマス原料から つづられた、環境に配慮した高機能包装材料 の実用化を目指す	23年 2011年
1月 株式会社河北新報社(代表取締役社長・一 力雅彦)と日本製紙は、新聞配達後のトラック で新聞用紙を運ぶ「新ラウド輸送」の開始 で合意。	2月 日本のGDP 中国を下回り 世界第2位から3位に後退 3月 東日本大震災(M9.0)発生 7月 サッカー女子日本代表「なでしこジャパン」 W杯ドイツ大会で初優勝
3月 石巻工場 N3抄紙機 停機 (新聞用紙年間生産能力88千トン)	5月 東京スカイツリー (高さ634mの世界一高いタワー)開業 11月 中国共産党トップの総書記に習近平氏就任
3月 富士工場 12号抄紙機 情報用紙へ転抄 (新聞用紙年間生産能力34千トン)	24年 2012年
8月 東日本大震災により被災した石巻工場におい て、N2号抄紙機・2号塗工機の営業運転を再開。 これにより石巻工場では、「洋紙事業の復興 計画」に基づき復興作業を進めてきた抄紙 機6台、塗工機2台がすべて操業を再開し生 産能力は約85万トンまで回復。	25年 2013年
2月 釧路工場 6号抄紙機 クラフト紙へ転抄 (新聞用紙年間生産能力88千トン)	2月 スキージャンプ女子W杯 高梨沙羅さんがシーズン8勝を挙げ総合優勝 11月 小笠原諸島 西之島付近で噴火 新島出現
11月 岩国工場において、セルロースナノファイバー (CNF)の実証生産設備の設置工事が完了。 運転を開始。大量生産技術の確立と用 途開発を本格化	4月 消費税が8%となる 消費税増税は17年ぶり 5月 テニス錦織圭氏が日本男子初の世界トップ10入り 9月 御嶽山噴火 戦後最悪の火山災害となる
11月 震災復興道路工事で初めて高品質フライアッシュ [CIFA]「Carbon-free Fly Ash」を使用した コンクリートに適用。石巻工場の石灰ボイラー 燃焼灰を、東北復興の建設資材として利用	7月 お笑い芸人又吉直樹さんの「火花」が芥川賞受賞 10月 マイナンバー法施行 ラグビーW杯で日本が歴史的3勝を挙げる
10月 世界初となる機能性セルロースナノファイバー の実用化商品が発売開始。日本製紙クレ ンアが手掛ける大人用紙おむつの新ブランド 「肌ケア アクティ」シリーズに採用し、発売開始	27年 2015年
5月 石巻工場に、セルロースナノファイバーを大 量生産する設備の建設を決定。完全ナノ分 散セルロースナノファイバーの量産化へ	28年 2016年
10月 米国における新聞・出版用紙事業 合弁会社 ノーバック社持分の売却。北米における印 刷・出版用紙事業からの撤退	4月 熊本地震(M7.3)発生 震度7を観測 5月 現職の米大統領として初めてオバマ氏 被爆地・広島を訪問 10月 米大統領選トランプ氏当選
9月 江津工場に、食品・化粧品向けのセルロース ナノファイバー量産設備の稼働を開始。食品添 加物として製造・販売の実績があるカルボキシ メチルセルロースの製造技術を活用し、年間 300トン以上のカルボキシメチル化CNFを製造	2月 プレミアムフライデー スタート 9月 桐生祥秀氏 陸上100mで9秒98 日本選手初の9秒台 12月 プロ野球日本ハム 大谷翔平氏が 大リーグエンゼルスと団合意
7月 「紙でできるこれは紙で。」 紙化ソリューション 推進室を新設。循環経済の実現に貢献する 素材「紙」の利用シーン拡大へ	9月 テニス女子 大坂なおみさん 全米オープン優勝 10月 東京 築地市場が83年の歴史に幕
1月 新聞用紙の価格改定について当社ホーム ページでリリース。	31年 2019年
4月 紙製ストローの販売を開始。「紙化ソリューション」 推進へ、機能性・安全性を追求した国産品	1月 国際観光旅客税スタート 新税の導入は国税では27年ぶり テニス女子 大坂なおみさん 全米オープン優勝 4月 1日 令和に改元
7月 釧路工場 8号抄紙機 停機 (新聞用紙年間生産能力143千トン)【予定】	
12月 北海道工場勇弘事業所 6号抄紙機 停機 (新聞用紙年間生産能力116千トン)【予定】	

令和

本紙は八代工場NPI上質 64.0g/m²を使用しております。